

## 令和7年度 学校評価の概要

本年度の学校評価は、生徒、保護者、教職員、そして学校評議員の皆様のご協力を得て実施されました。調査は令和7年12月に実施し、全体で1,003名に依頼し、983名から回答を得ました（回収率98.0%）。その結果を基に、本校の教育活動の成果と課題を明らかにし、次年度の学校運営の改善と活性化につなげてまいります。

### 1. 全体の評価

- ・今年度も多くの項目で学校の取組を支持する回答が多数を占め、全体として安定した評価が得られた。※例：「学校行事が充実している（生徒）48.8%が『そう思う』」
- ・一方で、一部項目においては前年度より肯定的評価が減少、または「わからない」とする回答が増加しており、課題として受け止める必要がある。

### 2. 分析結果

- 高評価が維持・向上した項目
  - ・学校行事（生徒）… 昨年度に続き非常に高い評価。
  - ・教職員「いじめへの適切な対応」… 安定した評価が続いている。
  - ・緊急連絡メールなどの安全対策（生徒・保護者・教職員）… 全体的に高い信頼が示されている。
- 改善が見られた項目
  - ・ホームページ等の情報発信（保護者）… 情報発信の強化が一定の成果を上げている。
  - ・多忙化解消（教職員）… 課題が残るものの大幅に改善されている。
- 課題が示された項目
  - ・部活動の環境（生徒）… 体育館の雨漏りによるもので、他項目に比べて低め。
  - ・キャリア教育（生徒・教職員）… 学年が上がるにつれて進路意識に差が見られることも推察され、より主体的なキャリア形成を促す取組の充実が必要である。
  - ・整容・挨拶・マナーなど（生徒・保護者・教職員）… 生徒自身による規範意識や主体的な行動の面では一層の向上が望まれる。

### 3. 今後の対応について

- ・アンケート結果を真摯に受け止め、課題の明確化と優先順位付けを行い、具体的な改善策を講じていく。
- ・組織的・継続的な取組を強化し、否定的・消極的回答の減少を目指す。
- ・ホームページや各種通信等を通じて教育活動の成果や取組状況を積極的に発信し、保護者・地域との相互理解を一層深める。

本校は、課題の改善に着実に取り組むとともに、その状況を丁寧に周知し、信頼される学校づくりを進めてまいります。今後も地域社会との連携を大切にし「地域に根ざした学校」としての役割を一層果たしてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。